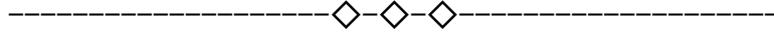


仙台フィル支援に関する役員会・幹事会の意見

メールによる意見については以下のとおりです。

メールは、日付が新しいものから過去の日付の順に並べています。



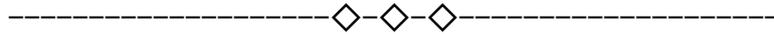
◎群響ファンズ会長 小野 善平（仙台への義捐金について）

（2011. 03. 14）

武藤さん

ご無沙汰しています。余震対策でまだまだ大変な日々が続きますが、今回の地震で甚大な被害を受けた仙台に対してJOF Cとして義捐金を募る音頭を札幌で取っていただくことを検討していただければと思いメールしました。

お互い自分たちのことで精一杯状況ですが、金沢、名古屋、広島は影響は少ないですし、群馬も物的被害は軽微ですので幾分の余裕はあります。お忙しいこととは思いますが、よろしくご検討いただければと思います。



◎日本プロオーケストラファンクラブ協議会幹事長 西川 吉武

事務担当 事務局長 武藤 義典

（2011. 04. 02）

JOF C 幹事各位

先般、仙台フィル、SPC支援義援金募集について、ご意見をいただきありがとうございます。

一昨日、札幌から仙台フィル支援について、6月までの演奏会中止により事業収入がなくなり、経営的に厳しい状況となっている。私たちの仲間を支援するために「仙台フィル支援」に特定した義援金募集して直接支援することになった。ついては、札幌くらぶと一緒にやりたい、との申し出があり、検討の結果、オーケストラを失うことは私たちの仲間のファンクラブをも失うことになる、したがって仙台フィルを直接支援しよう、直接支援することにより慰問コンサートの費用にも充てられる、ということになり札幌の申し出を受け、義援金募集活動はそれぞれで行い、義援金は札幌と札幌くらぶの連名で行うこととしました。

また、日本オーケストラ連盟も水面下で同様の活動をしているとのこと。

つきましては、JOF Cとしても次のとおり仙台フィル直接支援といたしたく至急ご意見をお伺いいたします。

1. JOF Cのプロオーケストラを応援するという目的から、現在各所で行われている義援金募集と同じことをしても意味がない。
2. JOF Cとして仙台フィル支援を目的として各クラブでオーケストラと連携、または単独で義援金を募る。
3. 義援金は、各クラブとオーケストラの連名、または単独で直接支援する。
4. 各クラブの名称は、「日本プロオーケストラファンクラブ協議会会員「各クラブ名」とする。



◎日本プロオーケストラファンクラブ協議会幹事長 西川 吉武
事務担当 事務局長 武藤 義典

(2011.04.05)

JOF C 幹事各位

先般、仙台フィル支援のための義援金募集につきまして、幹事会として次のとおり役員会に提案することとしましたので、お知らせいたします。

1. JOF Cのプロオーケストラを応援するという目的から、現在各所で行われている義援金募集と同じことをしても意味がない。
2. JOF Cとして仙台フィル支援を目的として各クラブでオーケストラと連携、または単独で義援金を募る。
3. 義援金は、各クラブとオーケストラの連名、または単独で直接支援する。
4. 各クラブの名称は、「日本プロオーケストラファンクラブ協議会会員「各クラブ名」」とする。



◎日本プロオーケストラファンクラブ協議会幹事長 西川 吉武
事務担当 事務局長 武藤 義典

(2011.04.05)

上田 JOF C 会長 様

工藤 JOF C 副会長 様

加藤 JOF C 副会長 様

小野 JOF C 副会長 様

S P C 支援のための義援金募集について、幹事会で以下のとおり提案することいたしました。

仙台フィルの現況につきまして、6月までの演奏会中止により事業収入がなくなり、経営的に大変厳しい状況となっておりますとお聞きしております。

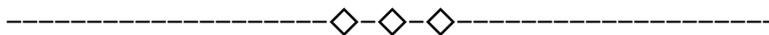
札幌交響楽団からも私たちの仲間を支援するために「仙台フィル支援」に特定した義援金募集して直接支援することになった。ついては、札幌くらぶと一緒にやりたい、との申し出があり、検討の結果、オーケストラを失うことは私たちの仲間のファンクラブをも失うことになる、したがって仙台フィルを直接支援しよう、直接支援することにより慰問コンサートの費用にも充てられる、ということになり札幌くらぶも札幌の申し出を受け、義援金募集活動はそれぞれで行い、義援金は札幌と札幌くらぶの連名で行うことになったということです。

つきましては、JOF Cとしても札幌と札幌くらぶの取り組みと同様の取り組みを各クラブにもお願いし、仙台フィルの直接支援を下記のとおり行いたいと思います。

ご意見を賜りたくお願い申し上げます。

1. JOF Cのプロオーケストラを応援するという目的から、現在各所で行われている義援金募集と同じことをしても意味がない。
2. JOF Cとして仙台フィル支援を目的として各クラブでオーケストラと連携、または単独で義援金を募る。
3. 義援金は、各クラブとオーケストラの連名、または単独で直接支援する。

4. 各クラブの名称は、日本プロオーケストラファンクラブ協議会会員「各クラブ名」とする。



◎山響ファンクラブ顧問 加藤 聡（2011.04.05）

JOF C西川幹事長様

武藤事務局長様

大変ご無沙汰致しております。

実は、私は震災当日出張で仙台市内にいました。

今までに体験したことのないものすごい揺れで、本当に命を奪われる恐怖と、人間では抗いようのない自然の大きな力を感じざるを得ませんでした。

阪神淡路大震災級の地震と直感し、万の単位の方が命を落とされるのではないかと思います。

信号機も付かない無秩序な交通状態の中、宮城山形の峠を越え普段の倍の約5時間をかけて自宅の酒田に命からがら戻りました。

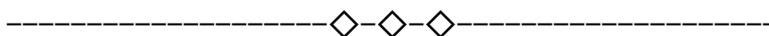
先月29日(火)には、商工会議所青年部の地域連携で親しくしている石巻の仲間達に支援物資を届けました。

被災地の惨状は、とても言葉では表せない状況で、ただただ現実を受け入れ祈るしかない有様です。仲間達は皆地域の青年経済人ですが、被災地でそれぞれが立派に役割を果たしており、決して暗くはありませんでした。逆に、お見舞いに行った我々が元気づけられた程です。

さて、首題の件ですが、本日開催された山形交響楽団の事務局会議の席上で早速取り上げていただきました。どのように進めるべきか、事務局と山響ファンクラブとの間で打合せを持つことになろうかと思えます。

1～4までの内容については、JOF Cの副会長としては諸手を挙げて賛同する次第であります。

皆様の本件の進捗について、引き続き情報をいただければありがたく存じます。



◎SPC会長 工藤 一郎（2011.04.06）

武藤 義典 様

お察しの通り、仙台フィルもSPCも同じ被災者として危機的な状況にあります。

当方の現状は3月17日以来、JOF C・HP掲示板で逐次ご報告している通りですが、SPCの内情を申し上げれば、大半のスタッフが自宅や職場の立て直しの忙殺されており、例年この時期に行っている前年度の決算、会員募集や更新手続き、新年度の活動計画や予算立案…等々が全く進んでおりません。

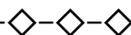
つまり、新年度に向かって年会費や広告料収入の見通しが立たない中、当面は積立金を取り崩してやって行くしかないのですが、そのためのスタッフ会議が開けません。

スタッフの中には陸前高田市の親戚がほとんど亡くなったとか、石巻市の実家の被害が大きくて自分の事に手がつけられないとか、名取市の職場が流されたとか、経営する福祉医療法人が、被災した要介護老人の受け入れ先となったため通常の業務が行えない等、深刻な事態に直面して心身ともに追い詰められている者もおります。

まずは早くスタッフ全員に平穏な日常生活が戻ることを祈るのみです。

「ご意見を」との仰せですが、本日はこのような報告しか申し上げることができません。

何とぞ、ご高察下さい。



◎山響ファンクラブ事務局長 保科 誠（2011. 05. 10）

山響ファンクラブ、保科です。

いつもお世話になっております。

先般の仙フィル支援義援金につきまして、山響FCでの進展の報告と受け渡しについてのご相談です。

山響FCでは、山形交響楽団と相談した結果、以下の2つの活動を行うことといたしました。

1. 仙台フィル支援を目的としたファンクラブ単独の募金活動会員に郵便で呼びかけ、振込みで集金し、仙台フィルへ直接寄付

2. 山形交響楽団の行う募金活動への協力楽団としてはオーケストラ連盟からの趣旨に沿って募金活動を行う。

一度連盟で集約されるため、全てが仙台フィル支援に回るかは連盟の判断。

山響FCとしては、コンサートの幕間や終演後に募金箱を預かって立つ。

2については、4月の定期で実施しております。

1では、10余万円という規模ですが4月の振込みをまとめた段階です。

ご相談というのは、この義援金の渡し方の部分です。

札幌交響楽団さまと札幌くらぶさまでは、直接お渡しに行くと同っていますが、山響FC単独の規模ではそこまで出きるものではないなという感じです。

もちろん会員への報告としては直接お渡しできた方が喜ばれるでしょうが、仙フィル事務局側にご対応いただくのもご迷惑と察します。

他のファンクラブのみなさまは、どのように義援金をお渡しされますか？

JOF C各団体の分を取りまとめて直接お渡しする、もしくは札幌くらぶさんが仙フィルに伺ったときに別枠としてお渡ししていただくなど、振込む以外の方法などあるでしょうか？

お知恵をお借りいただければ幸いです。

以上、よろしく願いいたします。



◎札幌くらぶ事務局長 武藤 義典（2011. 05. 10）

札幌くらぶの武藤です。

今回のJOF Cの方針として、一般的な義援金は赤十字などに送って、赤十字がその配分を決めることから、そのような義援金では仙台フィルには1円も渡らない、仙台フィル支援を目的として義援金に募金してくださった会員の意志に背くものと考えられます。

したがって、仙台フィル支援を目的とした義援金を募集しているならば、仙台フィルに直接贈られるのがいいと思います。

札幌くらぶは、5月6日、4月末までの義援金を札幌交響楽団に渡し、連名で113万余円を仙台フィルの口座に直接送金しました。

送金は、第七十七銀行で義援金の扱いですと無料で送金できるようです。

以上のことから、山形交響楽団と方針が異なるようでしたら、山響ファンクラブとして単独で直接仙台フィルに送金されることをお勧めいたします。

送金口座は、仙台フィルに照会すれば教えてもらえると思います。



◎山響ファンクラブ事務局長 保科 誠（2011.07.17）

山響ファンクラブ、保科です。

いつもお世話になっております。

小野さんの提案、拝見させていただきました。

山響ファンクラブのスタッフでも議論し、とても勇気のある面白い提案だとみな感心しておりました。

賛成の方向の方が多いのですが、よく分からない点やもう少し議論したいねという意見もありまして、少しコメントさせてください。

・購入するのは仙台フィルの会員券でしょうか？

それぞれの地元のオーケストラの会員券を仙台フィルに提供して、販売してもらうという意味に取った方もおりました。

・支援の流れについて

仙台フィルから買って、寄贈して、仙台フィルがまたそれを販売するのか、具体的な流れやSPCシートとの違いなどをもう少し知りたいです。

・10年間という期間

これはまた後々の議論と思いますが、どれぐらいの期間が適当なのか。

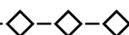
また、あらかじめ10年分のチケットを購入するなど、期間が固定になる仕組みが入るのでしょうか。

他に、仙台フィル支援に固定せず、JOF Cに基金を作ってしまうてはどうか？という意見もありました。

異論としては、

自分たちのオーケストラにもしていないレベルの支援（山響FCとしては、今年度だけで全会費収入の2年分弱を寄付（一部予定）を仙台フィルのみに限定して続ける違和感（他のオーケストラもまだこれから大変になるのでは）や、直接足を運び直接拍手を送る事を重視したいという意見がありました。

JOF Cで年に一度仙台フィルを聴きに行き、地元経済にも貢献してくるとか、他にも色々な方法が提案にあがって議論できるといいな、と思います。



◎群響ファンズ会長 小野 善平（ ）

西川さん

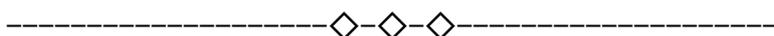
お早うございます。仙フィル支援について各地でも議論をされているようですが、うまく伝えられなかった点がありましたのでご連絡します。

メモリアルシートの財源についてですが、私が考えましたのは、現在進行中の群響ファンズの募金や山形のそれ（およびその他のファンクラブからのもの）をJOF Cに集め、その金額をメモリアルシートの購入にあてたらどうかというもので新たな募金を提起しているものではありません。仙フィル支援は長期にわたるものだと思いますが、毎

年仙フィル支援の募金ができるゆとりはどこにもありません。このジレンマを解消する一案として、提案した次第です。札幌くらの募金は急性期支援という形で先方にとどけられましたので、今後届く群馬、山形、その他ファンクラブからの募金をプールしてシート代金にしてはどうかというものです。

集まった金額に応じてシート購入期間は短縮されるかもしれません。2席というのはペア券という意味でした。いずれにしましても、長期的な支援ということ考えた時、今回のような形で毎年募金運動を行うのは無理としますので、今進行中の募金の活用法としてシートによる長期支援策を提案した次第です。

それともう一点、単独では仙フィル募金を行えないファンクラブもありうるかと思うのですが、例えば毎年のJOF C総会の会議場に募金箱を用意すれば全てのファンクラブがこのシートの提供に参加できることとなります。以上簡略で言葉足らずの点多々あるかと思いますが、ご検討をお願いいたします。



◎仙台フィルハーモニークラブ（SPC）会長 工藤 一郎

（2011.08.05）

第5回JOF C総会ではお世話になります。皆様よろしくお願い致します。つきまして、今回は震災に関して仙台フィルとSPCが、皆様より格別のご心配を頂いておりますので、皆様のご意見やご提言を頂く前に、まず地震発生以来の事の次第をご報告しなければならないと思っております。

ただ、時間が限られており、また報告内容も多岐にわたりますので、甚だ勝手ではありますが、小生が現在雑誌に連載中の以下の記事を、事前に皆様に読んでおいて頂ければ大変助かります。

●芸術現代社発行 月刊誌「音楽現代」

- ・5月号P.93～94『つながれ心、つながれ力』～東日本大震災から立ち上がる仙台フィルと山響～
- ・6月号P.80～81『つながれ心、つながれ力』～スタートした“マラソンコンサート”～
- ・7月号P.98～99『つながれ心、つながれ力』～被災地へ、そして全国へ～
- ・8月号P.92～93『つながれ心、つながれ力』～開かれた扉～
- ・9月号P.?（今月中旬発売予定）『つながれ心、つながれ力』～真の復活・復興を目指して～

この雑誌は大抵のオーケストラ事務局に届けられていると思いますが、手に入らない場合は、バックナンバーを全国の有名書店または有名楽器店で注文することができます。手前味噌になりますが、単発のリポートやインタビュー記事は、他の新聞・雑誌でも見かけますが、本件をシリーズで継続的にリポートしているのは、「音楽現代」だけではないかと思えます。

事実関係を正確かつ総合的に把握して頂くためには、現在のところ、これを読んで頂くのが一番だと思っておりますので、何とぞ、前もって目を通して読んで頂けますよう、お願い申し上げます。

